

- ① 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。
 - ・必要に応じて部屋を使用しているため、スペースを確保できている。

- ② 利用定員やこどもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。
 - ・利用人数に限らず、職員は適切に配置されている。

- ③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。
 - ・用途別に部屋やパーテーションを使ってわけている。
 - ・段差もほとんどなくバリアフリーになっている。
 - ・カードなどを用いて伝えている。

- ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。
 - ・加湿器や空気清浄器を使っている。また、活動に合わせて部屋を使いわけている。

- ⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。
 - ・状況や目的など必要に応じて、使うことができている。

⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が
参画しているか。

・職員間で確認をしている。

⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その
内容を業務改善につなげているか。

・評価表を全職員で確認し、改善点などを話し合っている。

⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている
か。

・意見を出すような場を設けている。

⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を改善につなげているか。

⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催す
る機会が確保されているか。

・研修を受ける機会や勉強会などを定期的に行っている。

⑪ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。

・ホームページにて公表している。

⑫ 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや
課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

・定期的にあセスメントを行っている。

⑬ 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。

- ・ 支援する職員からの意見を取り入れながら、計画を作成している。

⑭ 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。

- ・ 計画書が見直される時は、職員間で確認し、共有している。

⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。

- ・ 利用日には記録を残している。また、アセスメントも適切なものを使用している。

⑯ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。

- ・ 計画書には、その子に応じた計画書を作成し、具体的な内容も記載している。

⑰ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。

- ・ 職員間で確認している。

- ⑱ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。
- ・定期的に見直しをしている。
- ⑲ こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。
- ・その子に応じて計画書を作成、集団活動や個別活動を行っている。
- ⑳ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。
- ・支援前には、職員間で確認している。
- ㉑ 支援後終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。
- ・支援後に必ずではないが、定期的に振り返り、共有している。
- ㉒ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。
- ・支援の記録を徹底し、日々記録をとっている。
- ㉓ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。
- ・定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。

- ②④ 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。
- ②⑤ こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。
- ・ 選択できるような機会を設け、自己決定できるようにしている。
- ②⑥ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。
- ・ 児童発達支援管理者が会議等に参加している。
- ②⑦ 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。
- ・ 担当者会議等に参加し、情報共有を行っている。
- ②⑧ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。
- ・ 下校時刻等は用紙でいただき、確認をしている。
- ②⑨ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。
- ③⑩ 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。

③① 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。

③② 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。

・ 触れ合う機会はあるが、活動まで至っていない。今後検討していきたい。

③③ (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。

・ 定期的に行われている会議や活動に参加している。

③④ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

・ こどもの状況を家族とやりとりをし、情報共有をしている。

③⑤ 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。

③⑥ 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

・ 契約時に説明をしている。

③⑦ 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。

- ③⑧ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。
- ・計画書を説明し、同意を得てサインをいただいている。
- ③⑨ 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。
- ・相談等があれば、応じている。
- ④⑩ 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。
- ④⑪ こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。
- ④⑫ 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。
- ・月に1回便りを発行し、行事予定等を発信している。
- ④⑬ 個人情報の取扱いに十分留意しているか。
- ・
- ④⑭ 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

④5 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。

④6 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。

・緊急時マニュアルを家族に配布している。訓練も行っている。

④7 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

・職員間で確認し、勉強会を定期的に行っている。

④8 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。

・1年に1回確認をしている。

④9 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。

⑤0 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。

⑤1 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。

⑤② ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。

・ヒヤリハットを職員間で共有し、対策などを話し合っている。

⑤③ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

・定期的に勉強会を行い、情報共有を行っている。

⑤④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。